

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部福祉課		■担当係	障がい福祉係
■評価事業名称	こころの健康づくり事業			
■評価事業コード	040300 - 184	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援		
	■施策	04 障がい者の社会参加と自立への支援		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)			
■法令等の名称	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			
■関連計画の名称	北上市障がい者プラン'12			
■事業の目的と概要	精神障害者に対する偏見を持つ人が減少する。うつ病などストレスが引き金になる精神障害者が減少する。①精神保健福祉講演会の開催②精神保健相談			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	こころの健康づくり事業	住民		①予算削減のため開催していない②精神保健相談 福祉課窓口相談 延130件

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	2	187	1	4	
人件費	741	900	892	1,652	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	743	1,087	893	1,656	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	精神保健福祉講演会の参加者数	0	150人		開催なし	
02	精神保健相談来所者数	127人	89人		130人	継続して相談支援した件数。相談支援事業所が開設されたことにより、困難事例に対して連携して支援することができた。

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

03	講演会で精神保健について理解出来た者の割合		-		
04	講演会一人当たりコスト		7,247円		
05	相談者一人当たりコスト		12,214円	12,738円	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

精神保健相談窓口として定着している。

### 問題点・課題等

相談者は増加しているが、精神保健福祉手帳所持者、自立支援医療(精神通院)受給者も増加している。うつ病などストレスが引き金になる精神患者が減少するには、講演会などメンタルヘルスの取り組みが必要である。平成23、24年度は、自殺対策緊急強化事業として「こころの健康づくり講演会」を開催したが、平成26年度で事業完了となるため、27年度以降の講演会開催のための予算措置が必要となる。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

### 補足説明

精神保健相談にあたる職員の支援技術の向上のため、各種フォーラムへは引き続き担当保健師が出席するものとする。